

● 事例 ●

# 山形大学における学生との協働による経済支援 ～アドミニストレイティブ・アシスタント制度～

奥山利弘

(山形大学総務部企画調整役 (人事担当))

## はじめに

山形大学では、大学生が大学スタッフとして一緒に働いておられます。

これは、本学のテーマである「学生が主役の大学創り」の一環として学生二〇〇人程度をスタッフとして採用し、大学の運営・企画に参画してもらおうという学長が掲げる「結城プラン2009」において提言されたもので、平成二十二年二月にアドミニストレイティブ・アシスタント制度(以下「AA制度」として制度化いたしました)。

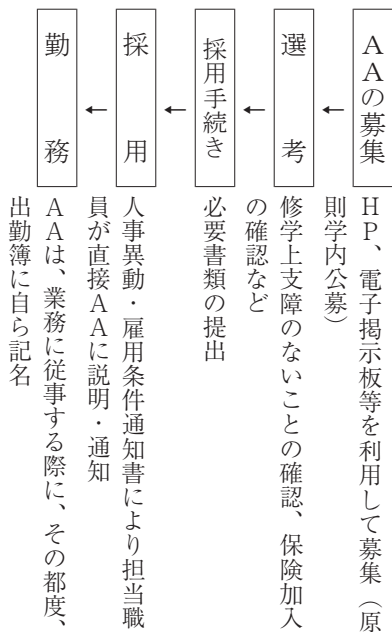
## 制度の概要

この制度は、国立大学法人山形大学が行う学生支援など

の業務に、修学に支障のない範囲において本学の学生を参画させることにより、学生の視点に立ったサービスも取り入れるなど学生支援業務等の充実を図るとともに、学生の就業意識の向上を図ることを狙ったものですが、併せて学生に対する経済的支援も目的としています。

AAは、主に次のような業務を対象としております。

- (一) 全学的業務で次に掲げる業務
  - ア 学生支援業務
  - イ 大学広報業務
  - ウ 学生が利用する施設等に係る業務
  - エ 大学が実施する事業に係る業務
  - オ その他学長が必要と認めた業務



(二) 各部局が実施する前号に進ずる業務

対象となる学生は、山形大学に在籍する学部学生及び大学院生（休学者は不可）で、修学に支障がないと判断される学生を対象としており、就労の際は、本学短時間勤務職員に準じて採用されます。

業務に対する給与は、時給制で学生の区分によって異なり、学部学生八五〇円、大学院生（修士）九〇〇円、大学院生（博士）一、〇〇〇円としております。

《採用までの流れ》

監督する職員は、業務終了の都度、実施業務内容を確認の上、AAの出勤簿に確認の記名

学長が掲げる「結城プラン2009」において提言されることとなったきっかけは、結城学長が外国の大学を視察した際に、大学内において生き生きと働く学生たちとの出会いがあり、「山形大学の学生にも機会を与えたい」との学長の思いから生まれたものです。

学生の雇用については、法人化前から、教育補助業務を行うTA（ティーチング・アシスタント）制度や研究補助業務を行うRA（リサーチ・アシスタント）制度または非常勤職員の制度を利用し雇用している例は各大学ともあると思います。

本学の場合においても同様の制度による雇用もしておりますが、今回のAA制度については、対象を本学の学生に限定し、学生支援などの業務を中心にスタッフの一員として参画願ひ、学生サービスの向上、学生の就業意識の向上、経済支援等の、明確なコンセプトのもとに制度化したものは珍しいものではないかと理解しております。

## AAの業務例

現在、三〇〇人近い学生がAAとして働いており、AA制度が開始されてからの延べ採用人数は約七五〇人となっております。以下に、AAの実際の勤務内容について、紹介させていただきます。

図書館の学習サポートAA…学部学生（主に一、二年生）からのレポート作成や文献検索についての質問に答えアドバイスを行うというもので、大学院生がAAとして担当しております。相談を受けた後には、その内容を記録し、学



オープンキャンパスの準備作業を行うAA



文献検索のアドバイスをする学習サポートAA

習のどの部分でアドバイスが必要なのかなどの傾向をデータベース化する業務も行っております。利用した学生からは、「相談相手が在学中の先輩なので先生や職員には聞けないようなことも気軽に相談できる。」「先輩の経験を基にした具体的なアドバイスが聞けるのでとても参考になる」などの意見が寄せられております。また、図書館側としても、AAを通して、学生の学習上の行動傾向を具体的に把握することができるため、サービスの充実を考える上で大きなヒントとなっていたり、学生の肉声として情報が入ることから業務の見直しなど業務の改善にもつながっております。

大学訪問担当AA…大学訪問に来られる高校生（小中学生の場合もあります。）に対して大学構内を案内・説明する業務を担当しております。場合によっては学生食堂と一緒に昼食をとったりすることもありますが、訪れる高校生からは、大学生が学生の視点にたったわかり易い案内・説明をしてけると大変好評のようです。

国際交流ユニットAA…本年九月に、韓国（釜山、ソウル）で行われた日本留学フェアに、韓国人留学生がAAとして、職員とともに参加しました。会場では、山形大学のブースにおいて、本学の大学案内や募集要項などの資料に

## 特集・経済支援

基づき入学試験の内容や学生生活に関すること、生活習慣の違いなどについて個別相談に応じてもらいました。

託児サポーター…女性研究者等の教育・研究と育児等の両立を支援するために男女共同参画推進室が中心となって学内に設けた託児ルームにおいて、AAが「託児サポーター」として、一歳から小学校六年生までの教職員等の子どもを、保育士と一緒に保育等の業務を行うというものです。託児サポーターとなるには、事前に学内で行われる「託児サポーター研修」（参加無料）を修了する必要があります。託児、これまで四五人のAAが登録されております。「託児



日本の大学の様子などを説明するAA・左下  
(韓国・ソウル)



遊具で遊ばせる託児サポーターの様子



高校生の質問に応えるAA・右(進学相談会)

サポーター研修」は、やまがた育児サークルランドの協力を得ながら行う女性労働協会の保育サービス講習会カリキュラムに基づいた講義と保育実習です。

### その他のAA

- 就職支援室の求人票等整理・データ入力、広報誌作成補助、就職支援に係るセミナー等の運営補助、就職情報の収集及び学生への情報メール配信
- 図書館の時間外開館等の閲覧業務
- プール監視、その他体育館などの体育施設の管理
- マルチメディア室アドバイザーとしてパソコン(ソフト)

の操作補助

○CITE教室におけるアルク自学自習システムの操作

○合同企業説明会における会場設営、受付、企業案内、参加学生へのアドバイス

○学生広報部HP編集に係る業務、打合わせ（会議）

○外国人留学生による韓国語印刷物の校正作業、中国語印刷物の校正作業

○学術情報基盤センターの時間外利用者への相談受付・アドバイス

○入試準備及び誘導業務の補助

○公開講座補助

○オープンキャンパスの運営補助

○三大学合同進学説明会において高校生らへの応対

○医学部における公開講座実技指導補助（システムデータ入力等）

○その他

### 学生への期待

大学内で職員とともに働く学生への期待としては、スタッフの一員として本学の学生支援業務や各種事業に参画願う中で、大学の仕事を知らせてもらう（興味を持ってもら

う）とともに就業意識の向上を期待していますが、実際にAAを経験し大学職員の業務に興味を持った学生が、将来の職業として大学職員を目指したいと職員採用試験にチャレンジする例も出てきております。一方、本学としても、学生の視点に立ったサービスを取り入れるなど学生支援業務等の充実を図ることができると期待しております。また、賃金による経済的な支援により、安定した修学環境が確保され、より一層勉学に専念願えるものと期待しております。

### 今後の課題

AAの採用にあたっては、働くことへの意識を持たせるためにも人事異動・雇用条件通知書等の交付を行うなど、一般的な雇用に準じた手続きを行っていますが、制度が定着化してきたこともあり、採用人数が増加傾向にあるため、採用手続きの事務量も増加してきております。通常の非常勤職員の採用手続きと比較すれば簡略した形で制度化したのですが、事務の効率化も念頭にさらに簡便な方法を検討中です。